

社会福祉法人志成会
個人情報管理規程

第 1 章 総 則

(目 的)

第 1 条 本規程は、当法人内の個人情報の取扱いに関する体制・基本ルールを策定し、当法人が保有する情報の紛失、漏洩、改ざん等を防ぎ、情報管理に関する当法人としての社会的責任を果たすことを目的とする。

(用語の定義)

第 2 条 本規程で使用する用語は以下のとおりとする。

(1) 個人情報

個人に関する情報で、当該情報に含まれる氏名、年月日等の記述により、特定の個人を識別できるものをいう。他の情報と容易に照合でき、それにより特定の個人を識別できるものを含む。

(2) 本 人

当法人が保有する個人情報で識別される個人及びその家族をいう。

(3) 役職員

当法人の役員、正職員、臨時職員、アルバイト、パート、派遣労働者をいう。

(対象となる情報)

第 3 条 本規程の対象となる情報は、当法人で保管するすべての個人情報であり、電子データ、印字データの別を問わない。

(適用範囲)

第 4 条 本規程は、当法人の役職員に対して適用する。ボランティア、実習生等、当法人に所属しないスタッフに対しても、本規程の趣旨を踏まえた適切な取扱いを求めるものとする。又個人情報を取り扱う業務を外部に委託する場合、必要かつ適切な監督し、この規程に従って個人情報の適切な保護を図るものとする。

第 2 章 個人情報管理体制

(個人情報管理責任者)

第 5 条 当法人における個人情報管理責任者は施設管理者とする。

2 個人情報管理責任者は、当法人における個人情報管理に関する取組みの推進に関する責任を負う。

- 3 個人情報管理責任者、上記責任を果たす上で必要な事項に関する決定権を有する。

(個人情報管理者)

第 6 条 事務長を個人情報管理者とし、看護部門、介護部門、支援相談部門、リハビリテーション部門、事務部門、栄養部門を統括する。

- 2 個人情報管理責任者は、各部門における個人情報管理に関する取組みを推進する責務を負う。

第 3 章 個人情報管理に係る安全措置の概要

(個人情報保護に対する基本方針)

第 7 条 個人情報管理責任者は、個人情報保護に関する当法人としての基本方針を定め、これを公表する。

(職員の個人情報の取扱い)

第 8 条 職員は、採用時に本規程を遵守する旨の誓約書を法人に提出すると同時に、退職後もこれらを遵守しなければならない。

(個人情報の収集)

第 9 条 収集する個人情報の利用目的を明文化し、施設内の掲示やホームページ等適切な方法により外部に公表する。

- 2 個人情報の収集は利用目的の達成に必要な限度において行う。
- 3 収集済みの個人情報の利用目的の変更を要する場合は、予め個人情報管理責任者の承認を得た上で、変更後の利用目的を公表する。
- 4 前項の規程にかかわらず、契約書等の書面やホームページへの入力結果等、本人から個人情報を直接取得する場合、書面上の明記等の手法により本人に対して利用目的を明示するものとする。

(個人情報の保管)

第 10 条 当法人で保管する個人情報は、個人情報管理マニュアルにより適切に管理するものとする。

- 2 当法人で保管する個人情報は、施錠管理、アクセス権の制限等、必要かつ合理的な安全対策を行う。
- 3 職員は、個人情報管理者又は個人情報管理者が指名する代行権限者の承認なく、個人情報を法人外に持ち出し、あるいは、第三者に提出してはならない。
- 4 個人情報を取引先・委託先等、外部に開示・提供する場合は、事前に個人情報管理者の承認を得た上で、機密保持同意書を受取りこれを行うものとする。

(個人情報の利用)

第 11 条 個人情報の利用は、予め開示した利用目的の範囲内で行い、その範囲を超えて行ってはならない。ただし、法令の定めに基づく場合を除く。

- 2 データ入力等のため、個人情報の取扱いを外部業者に委託する場合、委託先の個人情報取扱いが適切かどうか確認したうえ、業務委託契約に、委託業務遂行以外の目的での利用の禁止、業務終了後の情報の変換または破棄、機密保持、違反時の損害賠償等の条項を設けるものとする。長時間継続して業務を委託する場合には、委託先の個人情報取扱い状況について確認を行い、必要に応じて指導・契約の見直し等を行うものとする。

(個人情報の破棄)

第12条 保管期間を経過した個人情報、または当初の目的を達成して不要となった個人情報は、速やかに破棄するものとする。

- 2 個人情報の破棄にあたっては、印字データについてシュレッダー処理、電子データについてはデータ消去を行わなければならない。なお、破棄を外部業者に委託する場合は、外部業者が確実に破棄したことを確認するものとする。

(第三者提供)

第13条 業務の遂行にあたり、個人情報を第三者に提供する必要がある場合は、本人の同意を得るとともに予め個人情報管理者に報告し、その指示に従って必要な対応を行う。

(本人からの照会対応等)

第14条 個人情報に関する本人からの問い合わせ、情報開示・訂正・利用停止等の請求等、苦情及び照会の受付窓口を支援相談員とする。

- 2 受付窓口部門は対応に関する手続を定め、これに従い速やかに必要な対応を行う。

(教 育)

第15条 個人情報管理者は、定期的に職員を対象とした個人情報管理に関する教育を行う。また、ボランティア、実習生等に対しても個人情報管理の必要性についての意識喚起を図り、適切な取扱いを行うよう指導・監督する。

第 4 章 雑 則

(本規程への違反)

第16条 本規程への違反が明らかになった場合、当法人は就業規則の定めに従い、違反を行った職員を懲戒処分の対象とする。

(規 則)

第17条 個人情報管理責任者は、必要に応じ個人情報管理に関する規則を制定するものとする。

(施 行)

第18条 本規程は平成17年4月1日より施行する。